

私たちは国内外のグループ会社16拠点でISO9001の認証を取得し、継続的に品質改善に取り組んでいます。安全面では、各生産拠点に安全衛生事務局を配し、グループ安全統括チームがそのマネジメントのセンターとなり、本社と生産現場が一丸となって労働安全衛生活動に取り組んでいます。また、私たちがサポートいただいている委託先の品質・安全に関する責任についても全うするため、委託先の自主性を尊重しつつ、品質パトロールや貸与設備の安全立会などを積極的に支援することで自社グループ生産拠点外での事故・トラブルの未然防止にも努めています。これからも私たちはお客さまから一層信頼いただける企業を目指して、社会規範を遵守し、さらなる品質・安全の向上に努めていきます。

C S R 重要課題 4

品質と安全

リスクを未然に 摘み取る “攻めの安全対策” を推進

猿渡 会社存続に重大な影響を与える重篤災害・事故リスクを撲滅するという恒久的なテーマのもと、2023年度は事業所トップのリーダーシップを活かした安全活動の推進に注力してきました。2024年度は変化点・変更点でのリスクに着目し、チームリーダーなど各職場の中間層の安全意識をさらに向上させ、自ら安全活動を推進していけるような体制づくりに取り組んでいます。東洋アルミエコプロダクツ(株)滋賀工場は佐藤工場長を中心に安全活動に積極的に取り組み、無休業災害日数3,000日を達成しています。

佐藤 無休業災害日数3,000日は、あくまでも通過点であり安全対策はさらなる継続が必要です。特に、滋賀工場の主要設備であるプレス機は、事故を起こしてしまうと重篤事故につながりかねません。また、近年アルミ製品よりも紙製品の生産が増えていますので、加熱工程における火災のリスクが増大しています。安全・安心に働ける職場づくりを推進することは、工場運営の大前提だと認識しています。2024年度の重点テーマである変化点・変更点のリスクでは、作業者が変わる、取り扱う素材が変わる、設備が経時劣化することも該当します。今後ともグループ安全統括チームや他事業所と連携した活動をさらに推進し、従業員一人ひとりがリスクを認識し、事故を未然に防ぐ“攻めの安全対策”を進めていきます。

グループ安全統括
チームリーダー
猿渡 昌隆

東洋アルミエコプロダクツ株式会社
生産ユニット滋賀工場長
佐藤 圭

安全 過去の重篤災害風化防止活動

社長直轄のグループ安全統括チームでは、死亡災害や失明、欠損など残存障害を伴う労働災害いわゆる「重篤災害」に関するリスク低減に力点を置いて活動しています。また、不幸にして重篤災害が発生した場合、発生後間もないうちは職場の関係者が一丸となって「二度と同じ災害を発生させてはならない」という強い覚悟を持ち、各種対策を立案・実施するものです。しかし時間が経過するとその事故を直接的に知る従業員が入れ替わることもあり、その覚悟は忘れ去られ、事故発生後に確立された対策は形骸化するというリスクがあります。形骸化した対策では同様の事故を再発させてしまう事態を招きかねません。当社では労働災害の風化防止の一環として、過去の重篤災害の事例を全ての従業員に共有するための動画作成を進めています。2023年度には、プレス挟まれ事故、全身火傷、酸欠事故、火災

の事例に関する動画作成を行いました。動画内では、事故発生時の状況をよく知る従業員にインタビューを行い、当時の状況や心境などを語っていただきました。動画を見た従業員からは「事故により辛い思いをしたくない・誰にもさせたくないと思った」「二度と重篤事故を起こしてはならないと感じた」などの感想が寄せられ、改めて安全に対する意識を強めるきっかけとすることができました。安全への意識を高く保ち続けさせるため、各事業所では過去の災害事例を振り返る行事や、事故後の対策が現在も継続されているかどうかの確認なども行っています。2024年7月には、社長が自ら災害現場に赴き、労働災害により亡くなられた従業員に追悼の意を表すとともに二度と悲惨な災害は起こさせないという誓いを立てました。私たちは全社一丸となって、一人ひとりが重篤災害の未然防止に対する強い気持ちで、安全を守り抜くための努力を続けていきます。

品質 安全と品質は会社の命

「安全と品質は会社の命」私たちはこのスローガンのもとで重大品質事故ゼロを目標に掲げた事業活動を推進しており、2023年度もその目標を達成することができました。これは、過去の重大品質事故を教訓として変更点管理に注力してきたことや、再発防止策の強化活動が実を結んだ結果だと考えます。変更点管理を確実なものとするためには、変更前後の品質に有意差があるかどうかを見極める必要があります。必要な品質データの収集はもちろんのこと、得られた情報を統計的に検証・分析できる人財の存在は会社の生命線であり、私たちは計画的な育成を進めてきました。2024年度も引き続き対象者を拡大させながら統計的品質管理手法を理解できる人財の育成を強化していきます。

また、再発防止策の要は不具合の真の原因を突き止める是正処置です。そのために私たちは現場・現物・現実の”三現”をもとに事実を把握し、原理・原則で要因を解析する習慣を身につけられるよう不具合発生部門に対する指導および支援を行っています。効果的な是正処置の記録は会社の財産になることを忘れず、今後も5ゲン主義で是正処置のレベルアップに努めていきます。製造業を営む上で重要な製品の品質と従業員の安全を守るのは役員をはじめ、全ての従業員一人ひとりの意識です。お客さまにご安心いただける製品をお届けするため、私たちはこれからも全社一丸となって品質意識の醸成に努め、コンプライアンス遵守を徹底していきます。

TOPICS

東洋アルミグループでは楠本社長の思いが込められた「安全と品質は会社の命」という言葉をグループ共通のロゴマークとして策定しました。安全と品質について社長の思いを短い言葉で表現し、ロゴマークに落とし込むことで、従業員の目に留まりやすく、親しみを持てるよう工夫しました。ロゴマークを資料などにも付け加えることで、従業員が目に触れる機会を増やし、社長の思いをより浸透させていきたいと考えています。

